



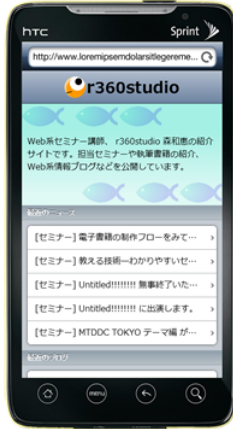
スマホ対応の現状

スマートフォンの普及が急速に進むなか、運営サイトの対応が急がれます。その概要と導入方法をお話します。

スマートフォンの種類

Apple iPhone

AppleがOS開発、販売する iPhone (iOS5 普及Ver4 or3)



ANDROID

GoogleがOS開発、複数社が販売する Android (Android4.0 普及Ver2.3)

スマートフォン対応サイト



スマートフォン閲覧の問題

短時間で閲覧
画面が小さく操作しづらい
低速回線

スマートフォン対応サイト特徴

必要最低限のコンテンツ
パーツが大きく余裕がある
ページが長い(折りたたみ・タブ)
デスクトップ版へ切り替え可能

スマートフォン対応サイトの作り方

HTML5
新しいタグ
+
CSS3
新しい修飾
+
Javascript
折りたたむ
ページ遷移に動き
jQuery



1つのファイルで両用する
レスポンスWebデザイン
(RWD)



jQuery Mobileで別ページ



CMSで別ページ



スマートフォンの種類

iPhone・Androidが二大巨頭

スマートフォン対応サイト

スマートフォンで操作がしやすいように設計されたサイト

サイト事例

[Yahoo](#) / [Apple](#) / [エキサイト天気](#) / [スターバックス\(米\)](#)

マルチデバイス対応

パソコン・タブレット・スマートフォン…などでサイト表示を最適化。レスポンスウェブデザイン。

jQuery Mobile

jQuery フレームワーク

[jQueryMobile](#) で簡単にスマホ対応サイトを作る

Dreamweaver CS6 の新機能

スマートフォン対応サイトを作るための機能が充実

まとめ

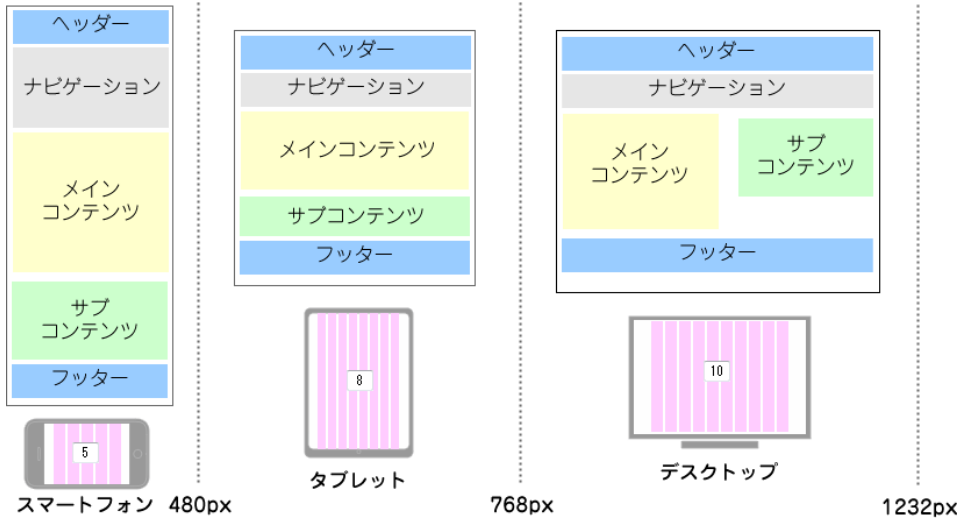
スマートフォン閲覧が想定されるなら、対応はすべき。さまざまな対応方法があるので、自分にあつたものを選ぶ。HTML5 と CSS3 の知識は必須。スマホっぽくするために、jQuery など Javascript で動きがつけられるとなお良い。

Dw 可変グリッドレイアウト

レスポンスなサイトを作るための Dreamweaver CS6 の新機能が可変グリッドレイアウトです。

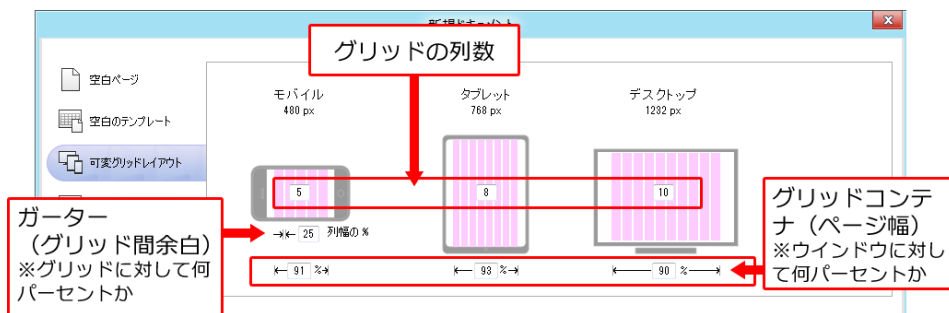
レスポンスなサイトとは？

デバイス表示画面の幅に応じて CSS を切り替えて、一枚の HTML ファイルをマルチデバイス対応にする手法のこと



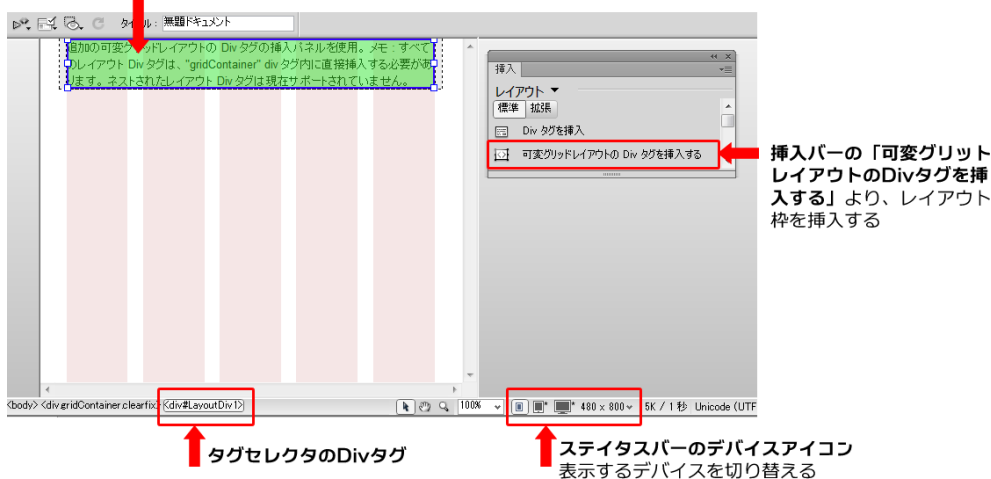
可変グリッドレイアウトを使う

1. [ファイル] - [新しい可変グリッドレイアウト] メニューを実行



2. デザインビューが可変グリッド表示に変更されます。

標準でレイアウト枠が一つ作成されている



レスポンス Web デザイン (RWD)

[利点]

- ・メンテナンスが楽
- ・ [Google が推奨?](#)

[問題点]

- ・表示幅の小さい機器にとっては、データ量が多くなりがち
- ・特に画像をどうするか?
→ 小さい画面から作成していくのがコツ ([モバイルファースト](#))

Dreamweaver CS6 の

可変グリッドレイアウト

スマートフォン (~480px)

タブレット (~768px)

デスクトップ (~1232px)

の3デバイス向きに CSS を個別に作成

・ [HTML5 Boilerplate](#) で HTML5 + CSS3 コードのブラウザスタイル初期化を行う

・ [respond.min.js](#) で IE6~8 へも @media 指定を行う

・ @media 指定で画面幅毎に切替

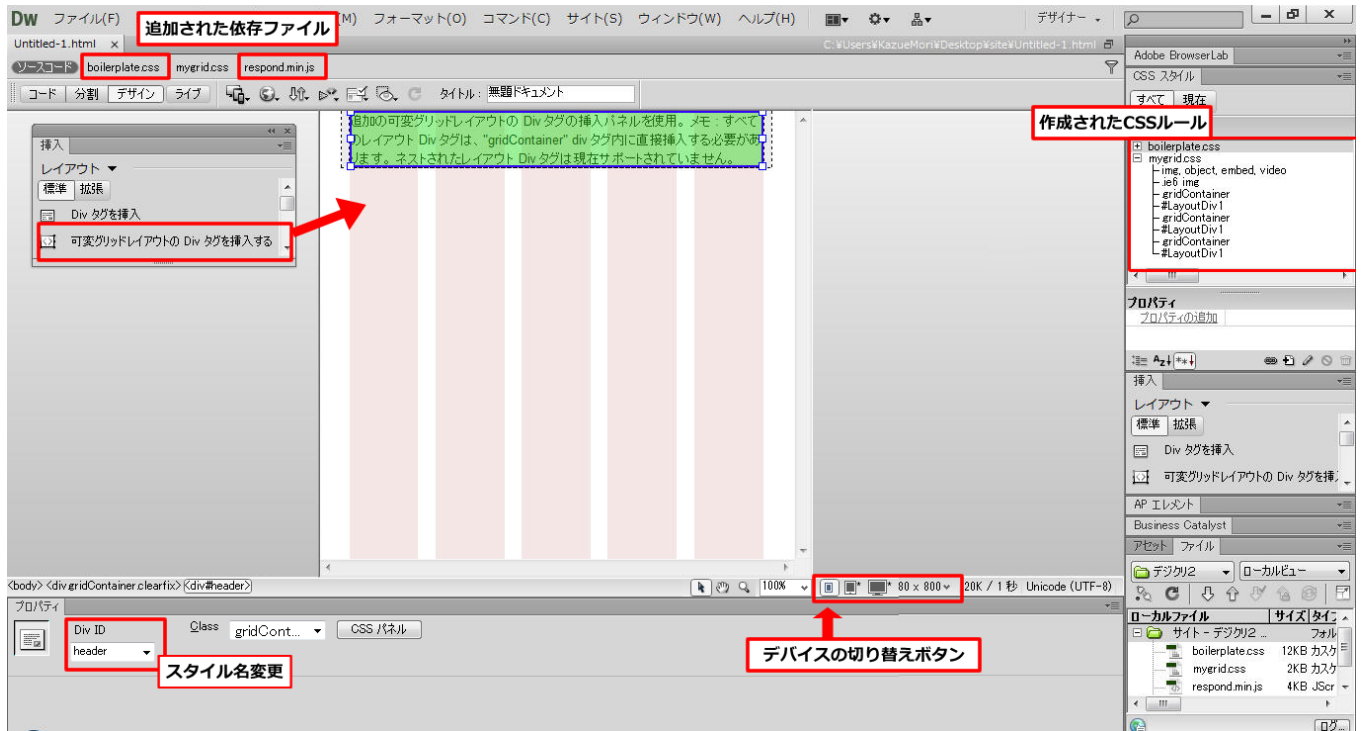
・ **img 要素** に「max-width: 100% (画像を含む親要素のサイズを最大幅に)」が指定。レイアウト枠よりサイズが超過した画像は、はみ出ないように、リサイズされる (fluid image フルードイメージ)

まとめ

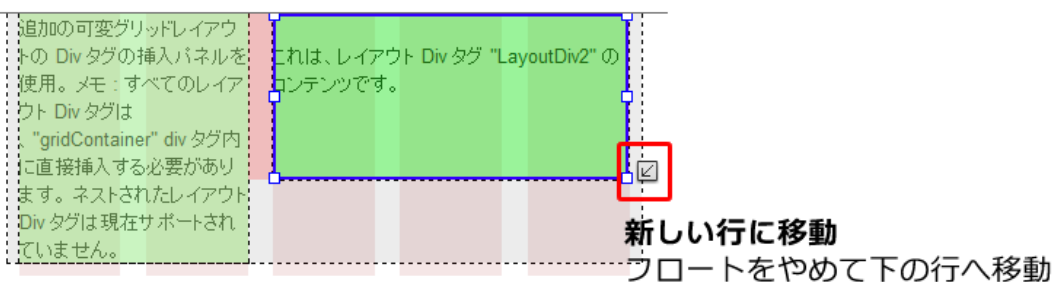
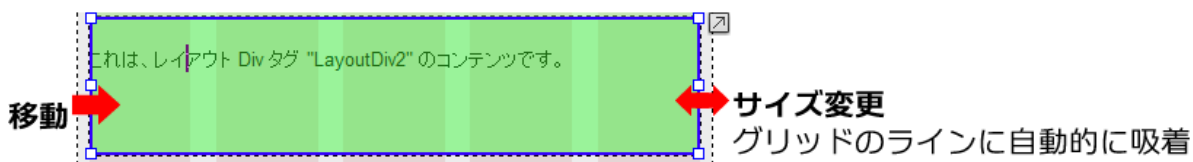
初期設定を準備したり、グリッド単位にサイズ計算ができるのは便利だが、レスポンス Web デザインがどういうものか? を理解する必要がある

3. モバイル・タブレット・デスクトップののに、初めに一つレイアウト枠 (#LayoutDiv1) が作成されます。

※#LayoutDiv1 は、選択し、プロパティの DivID でセレクト名変更が可能です。



4. モバイル→タブレット→デスクトップの順に、レイアウトを作成します。



Dw Fw jQueryMobile

Dreamweaver & FireworksCS6 で、jQueryMobile のスマホ対応サイトを作成できます。

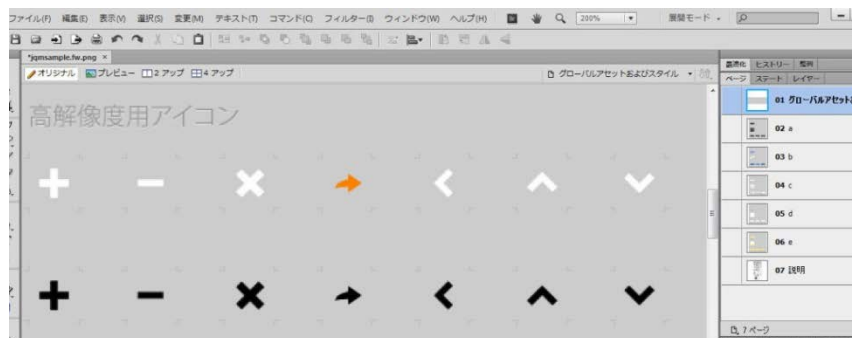
jQueryMobile とは？

jQuery Mobile は、モバイルサイト構築のためのフレームワーク。スマホ対応サイトっぽい、デザインやページ遷移アニメーションを手軽に組み込めます。コードは、「HTML5+CSS3+Javascript」で構成されています。プログラムが軽量・高速化されているのと同時に、対応デバイスが多いのが特徴です。

Fw JQM テーマ用の fw.png の作成

FireworksCS6 では JQM 用のテーマを作成できます。【コマンド】 - 【jQuery Mobile テーマ】 - 【新規テーマを作成】メニューで作成し、必要な個所のグラフィックを変更します。

※【ページ】パネルで、グローバル・テーマ a~e を切り替え



【注意】表示の際に拡大/縮小するので、編集時に線や模様をつけないほうがベスト

【ウィンドウ】 - 【エクステンション】 - 【jQuery Mobile テーマのアプリ内プレビュー】メニューで実際のデザイン確認ができます。

※【ページ】パネルで選んだテーマと連動



jQueryMobile (JQM)

【利点】

- ・HTML と CSS を知っていれば JQM のルールで組み込みが簡単
- ・スマホ対応ページらしいひな形があるので、作成が楽
- ・例えば、スマホ対応サイトを別に作る時などに数ページの小規模なものであれば、向いている

【問題点】

- ・ひな形作成のため、オリジナルデザインにするのが面倒
- ・アニメーションを多用すると、スマホの旧機種で動作が遅くなる

FireworksCS6 のjQM

テーマを作成できる。※公式ツール Themroller でも同様のことはできるが、例えばアイコン画像の変更などはできない

DreamweaverCS6 のjQM

新規ページを作成したり、挿入パネルからパーツを取り込むことができる。また、コードヒントが対応している。

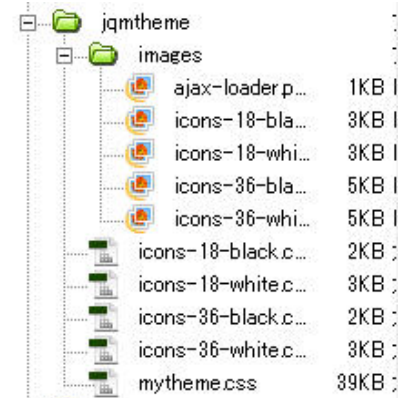
まとめ

Dreamweaver と Fireworks を使うと手軽に始められるが、jQueryMobile のルールを知っておく必要はある

【コマンド】 - 【jQuery Mobile テーマ】 - 【テーマを書き出し】メニューで最終データの書き出しを行います。Dreamweaver でサイト定義を行ったローカルフォルダ内に書き出します。

※書き出したファイルがすべて同じ階層にあればどこでも OK。

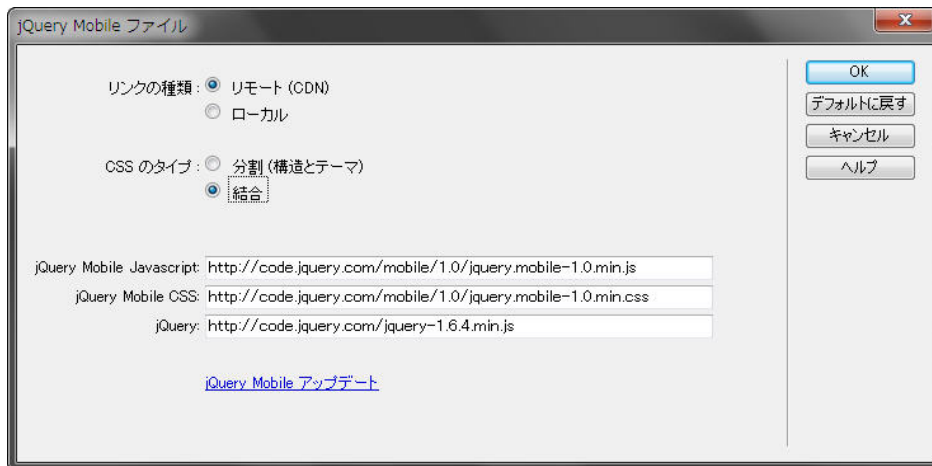
5つの CSS ファイル・images フォルダが作成されます。そのうち、HTML ページから呼び出すのは、自分が名付けた CSS ファイルのみです。



オリジナルテーマを適応した JQM ページの作成

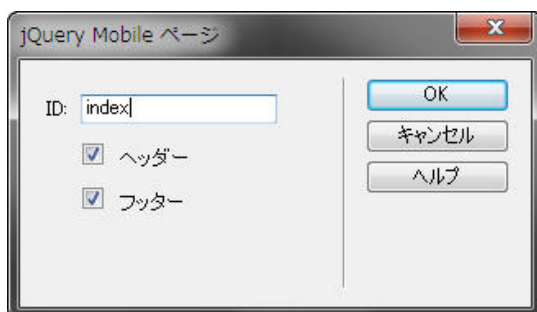
まずは head 要素内で JQM の呼び出しと、作成したオリジナルテーマの呼び出しを行います。新規ページ (HTML5) を作成し、JQM ページを挿入します。

(挿入パネルもしくは【挿入】 - 【jQuery Mobile】 - 【ページ】メニュー)



【注意】ここで呼び出される JQM のバージョンは古いので後で書き換えます。

最初に JQM パーツを挿入した時に、head 要素内で関連ファイル呼び出しを行うために【jQuery Mobile ファイル】ダイアログが表示されます。



続いて、ページ ID を任意で指定します。

head 要素内での呼び出し

ローカルに必要なファイルを持つ方法と、共有のリモートサーバ (CDN) から呼び出す方法があります。CDN の方が組み込みが簡単ですが、CS6 で呼び出している JQM が旧バージョンのため、ここでは公式サイトから CDN コードをコピーしました。

JQM のページ

JQM では、物理的な 1 ファイル中に複数ページを持たせることが多いです。(スマホでの読み込みを早くするために) `data-role="page"` 属性がついたブロック要素が 1 ページの単位になります。ページに **id 名をつけて**、個々を認識します。

Viewport 指定

スマホ対応サイトでは、meta 要素で viewport 指定を必ず行います。ページを表示したときに 1 倍 (等倍) で表示させるためです。

Download Theme

Theme Name

This will generate a Zip file that contains both a compressed (for production) and uncompressed (for editing) v

To use your theme, add it to the head of your page before the jquery.mobile.structure file, like this:

```
<!DOCTYPE html>
<html>
<head>
<title>jQuery Mobile page</title>
<meta charset="utf-8" />
<meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1">
<link rel="stylesheet" href="css/themes/my-custom-theme.css" />
<link rel="stylesheet" href="http://code.jquery.com/mobile/1.1.0/jquery.mobile.structure-1.1.0.min.css" />
<script src="http://code.jquery.com/jquery-1.7.1.min.js"></script>
<script src="http://code.jquery.com/mobile/1.1.0/jquery.mobile-1.1.0.min.js"></script>
</head>
```

```
3 <head>
4 <meta charset="utf-8">
5 <title>jqmサンプル</title>
6 <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1">
7 <link href="jqmtheme/mytheme.css" rel="stylesheet" type="text/css" />
8 <link rel="stylesheet" href="http://code.jquery.com/mobile/1.1.0/jquery.mobile.structure-1.1.0.min.css" />
9 <script src="http://code.jquery.com/jquery-1.7.1.min.js"></script>
10 <script src="http://code.jquery.com/mobile/1.1.0/jquery.mobile-1.1.0.min.js"></script>
11 </head>
```

最新のJQM を呼び出すように書き換えます。

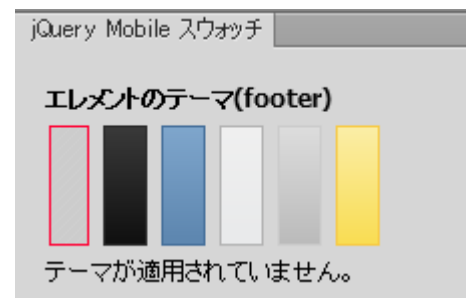
JQM 公式サイト[Themes]メニュー (<http://jquerymobile.com/themeroller/>) を表示し、[Download]をクリックします。[Download Theme]ダイアログの<meta name="viewport">~</script>までをコピーし、差し替えます。続いて、最初に読み込む CSS ファイルを Fireworks から書き出した CSS ファイルに変更します。

【今回のサンプルファイル】

ページを追加したり、各ページにコードを入力したり、パーツを挿入したりしながら、作成します。

また、Fireworks でカスタマイズした他のテーマ (a~e) には、Dreamweaver の[jQuery Mobile スオッチ]パネルを使うと楽です。

```
<div data-role="header">
  <h1>r360studio</h1>
</div>
<!-- #EndLibraryItem -->
<div data-role="content">
  <p></p>
  <p>r360studioのページへようこそ！</p>
  <ul data-role="listview" data-inset="1">
    <li><a href="#two"> 2ページ</a>
    <li><a href="#three"> 3ページ</a></li>
  </ul>
</div>
<!-- #BeginLibraryItem "/Library/footer.lbi" -->
<div data-role="footer">
  <h4>&copy; r360studio.</h4>
</div>
<!-- #EndLibraryItem --></div>
```



```

<div data-role="content">
<h2>2ページ</h2>
<a href="#index" data-role="button" data-transition="slide" data-theme="a" data-icon="home">ホームへ</a>
<div data-role="collapsible-set">
  <div data-role="collapsible">
    <h3>ヘッダー</h3>
    <p>コンテンツ</p>
  </div>
  <div data-role="collapsible" data-collapsed="true">
    <h3>ヘッダー</h3>
    <p>コンテンツ</p>
  </div>
  <div data-role="collapsible" data-collapsed="true">
    <h3>ヘッダー</h3>
    <p>コンテンツ</p>
  </div>
</div>

```



```

<h2>3ページ</h2>
<form action="" method="post">
<div data-role="fieldcontain">
  <label for="textinput">テキスト入力 :</label>
  <input type="text" name="textinput" id="textinput" value="" />
</div>
<div data-role="fieldcontain">
  <label for="selectmenu" class="select">オプション :</label>
  <select name="selectmenu" id="selectmenu" data-native-menu="false">
    <option value="option1">オプション 1</option>
    <option value="option2">オプション 2</option>
    <option value="option3">オプション 3</option>
  </select>
<div data-role="fieldcontain">
  <label for="flipswitch">オプション:</label>
  <select name="flipswitch" id="flipswitch" data-role="slider">
    <option value="off">オフ</option>
    <option value="on">オン</option>
  </select>
</div>

```

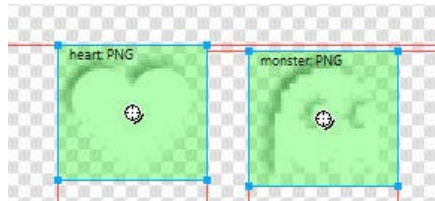


Fw CSS3 コードの自動生成

FireworksCS6 で作成したパーツから、CSS コードを生成したり、CSS スプライト作成できます。

CSS スプライト

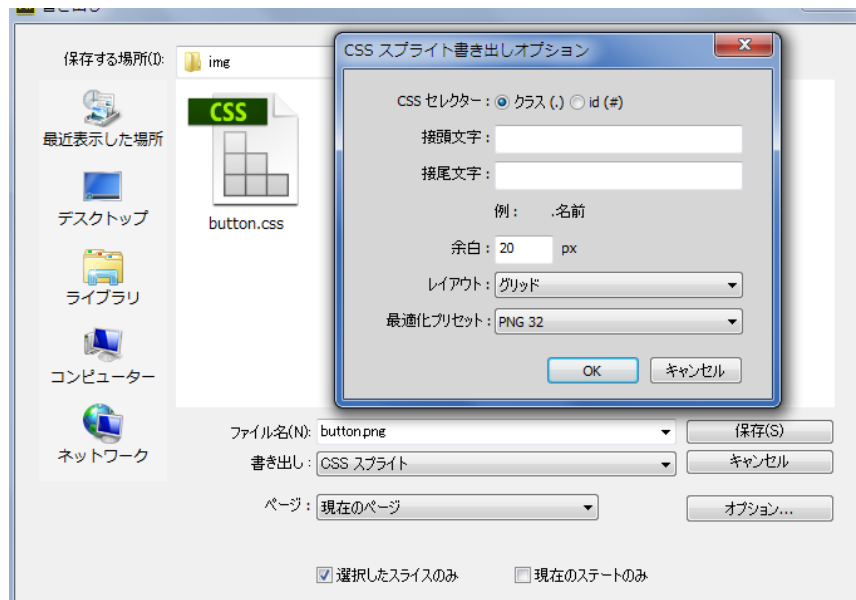
複数素材をドキュメントに並べ、個々に【編集】—【挿入】—【長方形スライス】メニューよりスライスを作成します。



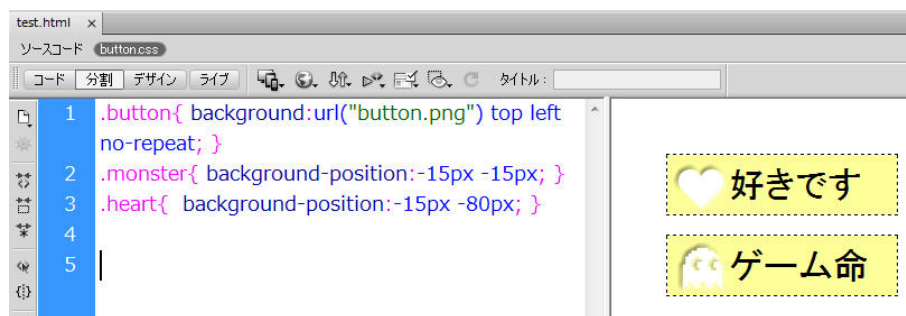
(スライス名がクラス名に反映される)

作成したスライスを選択し、【ファイル】—【書き出し】メニューで、「CSS スプライト」として書き出しします。

※必要に応じてオプションなどを指定します。



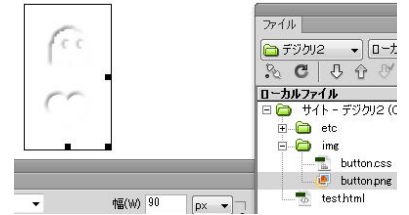
書き出された CSS コードのクラスを該当場所に割り当てて使用します。(幅・高さの指定は消したほうが使いやすいです。)



※今回は、``のように、クラス button と行頭を表示するクラスを両方指定しています。

CSSスプライト

複数素材を 1 枚の画像ファイルにまとめ、CSS プロパティの「background-position」で指定する手法。複数ファイルを読み込むより、表示が早くなる



CSSプロパティパネル

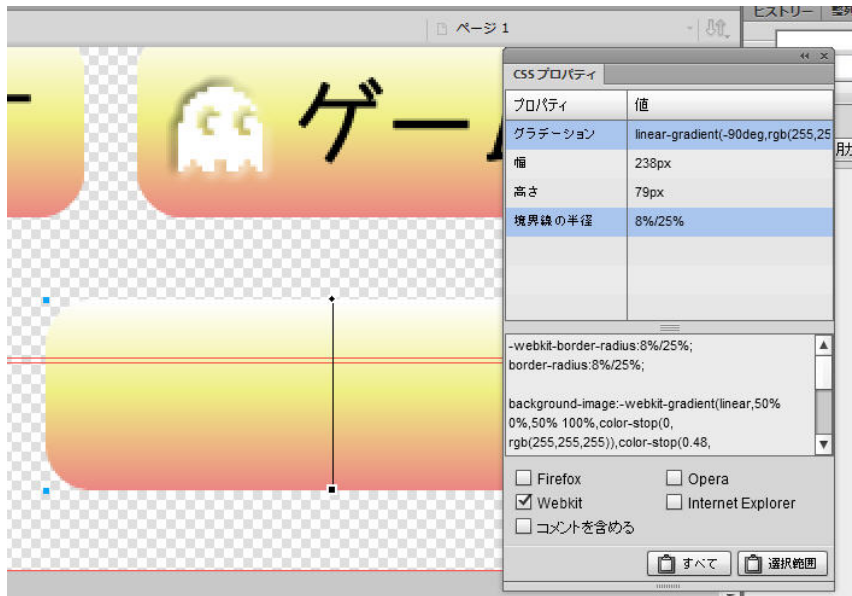
図形・テキストに指定したプロパティを CSS コードに置き換える。コピーでコードに反映

まとめ

生成した CSS コードをうまく利用すれば、一からコーディングするよりスピーディに作業が行える。が、コードの理解は必要

CSS プロパティパネル

Fireworks で図形や文字など、オブジェクトを選択し、[CSS プロパティ]パネルを確認すると、オブジェクトに指定した Fireworks プロパティが CSS コードに変換されています。対応ブラウザやコメントの有無などがオプションで選べます。**[すべて]**ボタンでは、すべてのコードがクリップボードにコピーされます。**[選択範囲]**ボタンでは、[CTRL]クリックで選択したプロパティのみがコピーされます。



今回指定したコード

```
.monster {
  -webkit-border-radius:8%/25%;
  border-radius:8%/25%;
  background:url("button.png") no-repeat -15px -15px,-webkit-gradient(linear,50% 0%,50% 100%,color-stop(0,
  rgb(255,255,255)),color-stop(0.48, rgb(255,252,0)),color-stop(1, rgb(255,0,0)));
  background:url("button.png") no-repeat -15px -15px,-webkit-linear-gradient(-90deg,rgb(255,255,255) 0%,rgb(255,252,0)
  48%,rgb(255,0,0) 100%) ;
  background:url("button.png") no-repeat -15px -15px,linear-gradient(-90deg,rgb(255,255,255) 0%,rgb(255,252,0)
  48%,rgb(255,0,0) 100%);
}
```

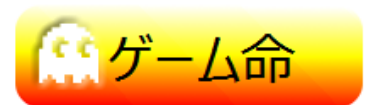
CSS スプライト・角丸 (border-radius) ・グラデーションを指定するために、最終的に一つのクラスにまとめました。

※完成データの「step5/img/button.css」

今回使用したデータは、

<http://www.r360studio.com/mschool130322.zip> よりダウンロードください。

(公開期間は約 2 週間程度)



Dreamweaver & Fireworks の知っ得ポイント

Dreamweaver の意外に知られてない機能

サイト設定とファイルパネル : ファイルパネルでファイル管理を行うために『**サイト設定**』を行う必要があります。「ローカル」と「Web サーバー」の**両方のファイル管理**が行えます。**[サイト]-[サイト全体の同期]**メニューで双方のファイル同期が行えます。

【関連ファイル】・【コードナビゲーター】・【ライブビュー/ライブコード】

Fireworks の意外に知られてない機能

【スウォッチパネル】 : カラー管理 ・ 【スタイルパネル】 : デザイン管理 ・

【シンボルパネル】 : 素材管理 ・ 【ページパネル】 : ページ管理



プロの使い方を学ぶ

Adobe Dreamweaver CS6 入門講座

プロの使い方を学ぶ Adobe Dreamweaver CS6 入門講座は、ソフトの操作から Web サイトの構築までを、2 日間で学べる基礎講座です。初心者向け入門講座ですので、ホームページの制作手法を短期間で習得したい方に最適です。

開催スケジュール

2013年4月23日 (火) ~
2013年4月24日 (水)

2013年5月29日 (水) ~
2013年5月30日 (木)

2013年6月25日 (火) ~
2013年6月26日 (水)

2013年9月10日 (火) ~
2013年9月11日 (水)

森 和恵

r360studio <http://r360studio.com/>

サイト制作の教科書 r360study

<http://www.facebook.com/r360study>

数社にて Web 制作、
インストラクション
業務を経験後、現在
はフリーランスで
Web 系セミナー講師
として活動中。



(Dreamweaver CS5 アドビ認定インストラクター)。「難しいことでも、わかり易く伝える」をモットーに、クリエイター時代の知識を講師の立場から、皆さまに役立てていただければ…と日々精進している。

セミナー運営 : エスエイティーティー株式会社 研修開発事業部 (m-school)

テキスト制作・セミナー実施 : r360studio 森 和恵 <http://www.r360studio.com>